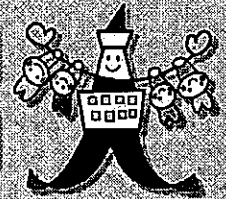


★子育て応援とうきょう会議 平成21年度事業計画



目的 社会全体で子育てを応援する東京を実現する

テーマ ○ 子育てを楽しむお父さんを応援しよう ○ 子育てのバリアがないまちにしよう

子育て応援とうきょう会議としての取組

(1) 気運醸成

① 広報活動(通年)

ポスター及び啓発グッズの配布、メッセージの発信等

② フォーラム等の開催

都民向けイベント「子育て応援とうきょう広場2009」

日程・場所：平成21年10月25日(日) 駒沢オリンピック公園
内 容：地域つなぐベアランラリー(仮称)、企業・NPO等団体の出展など

企業向けフォーラム「ワークライフバランスフェスタ東京2010」(仮称)

日程・場所：平成22年2月、東京国際フォーラム
内 容：東京都産業労働局と共催で実施予定

NPO等の協働フォーラム(仮称)

日程・場所：平成22年2月頃 場所は未定
内 容：NPO等のネットワークづくりについてのフォーラムを開催

③ イメージキャラクターによる広報展開

イベント、協働事業への出演等



栗丸裕英氏

(2) 情報提供

「とうきょう子育てスイッチ」の運営(通年)

パパとママと一緒に「楽しめて」「学べて」「役に立つ」子育て応援の情報サイトとして、既存コンテンツ(行政サービス検索など)の充実とともに新たな展開を図る。

【今年度新たに開発する予定のコンテンツ】

- 構成団体・協働会員紹介、子育て支援施策を活用していただくためのガイド
- 子育てマップ、お出かけ情報、子育てイベント情報の充実

(3) 意識啓発

① 高校生に対する父親授業(随時実施)

社会人になる前の高校生に、①父親の役割の重要性と②子育ての楽しさを教える。健全な次世代育成とともに、生徒自身が将来結婚して親になったときの指針を立て、ワーク・ライフ・バランスなどを考える契機としてもらう。(NPOファザーリング・ジャパン)

② 父親相談事業(随時実施)

父親が抱える疑問や悩みについての相談事業を実施。

取組内容：6月14日(日)に父の日イベント「パパのしゃべり場」と題し、ワーク・ライフ・バランスや子育てなどに関する父親同士の意見交換をグループトーク形式で実施(状況により継続実施も検討)。

また当日出た意見や相談内容をもとに、WEBサイトでの意見交換、相談の場の展開方法を検討。(NPOファザーリング・ジャパン)

③ 大学生によるワーク・ライフ・バランス企業への取材と発信(7月～2月)

ワーク・ライフ・バランスを進めている、あるいは進めようとしている企業の経営者等に学生がインタビューを行い、これから社会に出て行く立場から今の企業のワーク・ライフ・バランスを発信する。(法政大学キャリアデザイン学部)

④ NPO等のネットワーク形成事業(5月～2月)

NPOと行政、企業等との協働を推進するための勉強会やフォーラムを開催し、その必要性を意識づけることによって、広域における子育て支援ネットワークの基盤づくりを行う。(NPOせたがや子育てネット)

⑤ ベビーカーキャンペーン 第2弾(時期未定)

昨年度実施した鉄道でのベビーカー利用に関するキャンペーンのコンセプトを活かしながら、ベビーカー利用に関する取組みを展開

(4) 協働会員の募集

子育て応援のネットワークを拡大していくため、とうきょう会議の目的に賛同する団体(企業やNPOなど)を広く募集し、協働会員として登録する。

協働会員はとうきょう会議の事業に協力するか、又はとうきょう会議と協働して自ら子育て支援の取組を実施する。

構成団体が実施する取組

- 構成団体による主体的取組の推進
- 子育て応援とうきょう会議が実施する取組への協力(例：キャンペーンポスターの掲示、各種資料の配布、サイトへの寄稿など)
- その他、構成団体が提案する子育て応援の取組に相互協力

協働会員が実施する取組

将来イメージ

子育て応援とうきょう会議の取組をきっかけとして、社会を構成する各企業や団体が連携して、それぞれの立場と特性を活かし合いながら自主的に取組を推進

都民一人ひとりに子育て家庭を暖かく見守る意識が浸透し、社会全体で子育てを支援する取組が定着